東京23区が 見える。わかる。



# のアツースリーとう

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌



もっと活用しよう!

# 特別区自治情報



# 東京大都市地域の物語4 「東京23区 運動のひろがり」の発行

東京23区の自治のあゆみを、時代を追いながらたどる「東京大都市地域の物語」シリーズ。1冊目「東京23区のなりたち」、2冊目「東京23区 自治へのたたかい」、3冊目「東京23区 再生のいしずえ」に続き、このたび新たに「東京23区 運動のひろがり」を発行しました。

昭和39年、福祉事務所の移管をはじめ、特別区の事務権能が大幅に拡大されたところから「東京23区 運動のひろがり」の物語は始まります。

その後、東京大都市地域への人口集中や生活環境の悪化を背景に、大都市東京や特別区のあるべき姿について検討が重ねられる一方、依然として区議会が区長候補者を決め、都知事の同意を得て区議会が区長を選任する状態が続いていました。そうした中、打開されない状況に業を煮やした住民から「区長を自らの手で選びたい」との声がわき起こります。この動きは「区長準公選運動」となって、23区中に広がりました。

本書は、この「運動のひろがり」をきっかけ<mark>に、悲願であった区長公選を復活させ、特別区が実質的に基礎的な</mark>自治体となるまでの物語です。

残る課題で<mark>ある</mark>法的な性格の明確化に向けて、特別区はさらに歩みを進めることとなります。物語の続きは、今後発行予定の5冊目にご期待ください。

「東京23区 運動のひろがり」は、特別区自治情報・交流センター(開館状況については、ホームページでご確認願います)で無料配布しているほか、特別区協議会ホームページでも全文をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

HP

https://www.tokyo-23city.or.jp/chosa/tokei/shodana/monogatari.html



令和2年3月初版発行(無料)

# 「東京大都市地域の物語」シリーズバックナンバーのご案内



「東京大都市地域の物語」は、以下の3部が発行されています。あわせて、参考にしてください。

# 東京大都市地域の物語「東京23区のなりたち」



▲明治初期の「区」のはじまりから、戦 後「特別区」が誕生するまでの物語

平成29年2月初版発行(無料)

# 東京大都市地域の物語2 「東京23区 自治へのたたかい」



▲基礎的な自治体として出発した新生 特別区の、自治権の確立に向けた たたかいの物語

平成30年2月初版発行(無料)

### 東京大都市地域の物語3 「東京23区 再生のいしずえ」



▲都の内部的な団体とされた特別区が、復権運動の第一歩となる大幅な 事務権能拡大を得るまでの物語

平成31年3月初版発行(無料)

# ・交流センター

# 特別区自治情報・交流センターとは?

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約10万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料蔵出し

# おすすめのほんだよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!

# >>> 「特別区制度改革20周年記念」

令和2(2020)年は特別区制度改革20周年を迎える記念の年です。そこで今回は特別区制度改革に関係のある資料をご紹介いたします。

### ~特別区制度改革~

特別区が自治権を確立するために、昭和27(1952)年から平成12(2000)年のなかで行われた改革のことです。そして、平成12(2000)年の第4次制度改革によって、特別区は都の内部的団体から基礎的な自治体へと法的な地位を取り戻し現在の特別区に至ります。

令和2(2020)年は特別区が「基礎的な地方公共団体」と 地方自治法に明文化され法的な地位を取り戻した年から 20年経った記念すべき年です。



【写真】昭和47年特別区自治権拡充大会

# ~ 「特別区制度改革」関連資料~



欲しかった「自治」が、手にはいります。



ポスター

NA SALES IN SALES



ポスター

◆特別区制度の改革を目指す1万人の集い
制度改革を一致協力して推進するため、開催された大会概要



区政会館だより別冊 平成12年改革実現までの歩み

約10年間に渡る制度改革関連記事の集約



平成12年都区制度改革の記録

制度改革実現に向けた貴重な資料群の集大成



### 制度改革後の特別区のあり方

制度改革後に設置された第一次・第二次特別区制度調査会の3つの報告

<mark>★これらの古い</mark>資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。 ※特別区自治情報・交流センターの開館状況につきましてはHPをご覧ください。 普段とは違う視点から見た23区、 知ればもっと面白い!





世田谷区

# 東京23区内唯一の渓谷公園

等々力渓谷は、武蔵野台地の南端を谷沢川が侵食してできた、延長約1kmほどの渓谷です。1936年に、東京都の緑地計画の一部として、護岸と川沿いの散策路の整備事業を竣工し、1957年に風致公園として都市計画が決定され、東京都が整備をしました。渓谷沿いの一部を中心に、等々力渓谷公園として開園したのは、1974年になります。その後も用地取得と整備を進め、現在は3ヘクタールを超える区域が公園となっています。渓谷一帯は、東京都文化財保護条例によって「名勝」に指定され、谷沢川に沿った散策路から、優れた自然の景観を楽しむことができます。

# 豊かな水と緑、生き物の宝庫

等々力渓谷を含む地域一帯は、1933年に多摩 川風致地区に指定されました。散策路の脇にある 斜面にはシラカシやケヤキなどが形成する武蔵野の 雑木林が残り、シジュウカラ、ハクセキレイ、ツグミな どさまざまな野鳥を見ることができます。等々力渓谷 には30箇所以上の湧水が発生しています。湧水が 流れる緩やかな斜面には、セキショウが生え、湧水が 溜まる湿地にはシャガやキチジョウソウをはじめと する湿生植物群落など、特有の植生が見られます。 川や湧水が形成する湿地には、ドジョウやアユ、サ ワガニといった生き物がたくさん生息しています。

# 園内に点在する歴史的資料

園内には自然の景観以外の見所も多く存在します。 不動明王を祀った「等々力不動尊」は、関東三十六 不動に選ばれており、桜や秋の紅葉など四季折々の 自然を楽しむことができます。等々力不動尊の対岸 には、1961年に建築された書院建物と日本庭園が あります。庭園は、著名な造園家により1973年に 作庭されたもので、当時のままの姿で保存されてい ます。同年に園内で6基の古墳が発見されています。 そのうちのひとつである3号横穴は、典型的な横穴 墓の形態を留めていて、埋葬人骨や副埋葬品も良好 であったことから保存に至りました。

# 豊かな自然に恵まれた 心癒される都会のオアシス 「**等々力渓谷公園**」

世田谷区の閑静な住宅街にある「等々力渓谷公園」は、 1974年に開園しました。渓谷の自然的環境や景観を活かし、 水と緑とそこに住む生き物を五感で感じとることのできる 都会のオアシスとして、訪れる多くの人々に愛されています。



夏でも空気がひんやり感じられる散策路



等々力渓谷入り口にあるゴルフ橋



古墳時代末期から奈良時代にかけて 構築された3号横穴



日本庭園と書院



等々力不動尊

### 等々力渓谷公園

所 在 地 世田谷区等々力1-22、2-37·38 日本庭園開園時間 9:00~17:00(3月~10月)

9:00~16:30(11月~2月)

日本庭園休園日 12月29日~1月3日

日本庭園入園料 無料

アクセス 東急大井町線等々力駅より徒歩3分 お問<u>合</u>わせ 03-3704-4972



(玉川公園管理事務所)



# 誰でも気軽に利用できる交通至便な都会のホール

1997年に開館した内幸町ホールは、使いやすさを追求した定員188名の多目的な 劇場です。舞台はプロセニアム(額縁)形式で本格的な劇場としての性能を持ち、コン サートや演劇、落語、ピアノ発表会などさまざまな催しに利用されています。

駅地下通路直結で、都心の中心に位置する好立地に恵まれたこの施設は、本格的な ホール空間を気軽に利用できることが大きな特徴です。区内の他の文化施設と役割分担 をすることによって、文化活動を刺激する施設となることを目指しています。



古代の石造りの劇場をイメージした赤砂岩の壁面 を持つ空間が、地下に広がっています。座席数183席、 舞台後方の親子ルーム5名を持ち、ホール前方の座席 の一部は移動式で、車椅子席を最大9席設定。スタイ ンウェイのセミコンサートピアノC-227を常設してい ます。千代田区民以外の利用も可能です。

所 在 地 東京都千代田区内幸町1-5-1 **開館時間** 9·00~22·00

休館日 12/29~1/3

(設備点検保守等のための休館あり) アクセス JR新橋駅より徒歩5分 お問合わせ 03-3500-5578





# 伝統芸能の上演に適した迫りや本花道のある舞台

日本橋公会堂は、迫りや花道があり日本舞踊など古典芸能の公演が可能な舞台と、多種多様な 集会室を備えた多目的な施設です。1999年にオープンし、日本橋劇場の愛称で親しまれています。 都心のオフィス街にあり、半蔵門線水天宮前駅、日比谷線・浅草線人形町駅と複数路線からのア クセスが可能であることから企業や区民の利用が多く、ホールの舞台機構を活かした伝統芸能の 公演が多く催されています。400席以上の客席を有し、楽屋やリハーサル室なども備えており、老 若男女問わず幅広い層に利用されています。



などの設置により古典芸能の上演環境が整っている ことがホールの最大の特徴です。また、付帯設備には 「藤娘」「娘道成寺」などの定式道具も常備しています。集 会室は洋室4室、和室2室で構成されており、可動壁の使 用有無で部屋の規模を変えることが可能になっています。

所 在 地 中央区日本橋蛎殻町1-31-1 日本橋区民センター内 開館時間 9:00~21:30

12/29から1/3、設備保守点検日(第1火曜日、休日 休館日 にあたる場合は第2火曜日)、施設維持管理のため 臨時休館あり

アクセス 東京メトロ半蔵門線水天宮前駅より 徒歩2分

お問合わせ 03-3666-4255(公会堂受付)





# 昭和の風情を残す建物を文化交流の場として活用

港区では昭和11年に、芝浦花柳界の見番\*として建設された「旧協働会館」を、保存 と活用を望む地域の声を受け、港区指定有形文化財に指定するとともに、保存整備工 事を行い、「百畳敷」とも呼ばれる交流の間と、展示室、情報コーナー、軽食などを提供 する憩いの間などからなる「伝統文化交流館」として今年4月に開館しました。伝統文化 の継承と地域交流の拠点として、区民に親しまれています。

※「置屋」「料亭」「待合」からなる「三業」を取りまとめ、芸者の取り次ぎや遊興費の清算をする施設のこと



歴史的価値を象徴する場です。伝統文化に関する講 座や落語等の公演を行うほか、貸室としても利用でき ます。一部を観覧エリアとし、来館者が見学できるス ペースを設けています。ほかに、建物やその周辺の移 り変わり等を写真や映像を用いて紹介する展示室や 情報コーナーも備えています。

所 在 地 港区芝浦1-11-15 開館日 1/4~12/28(臨時休館あり)

開館時間 10·00~21·00 入館料 無料(貸室使用料別途、有料催しあり)

貸室対象 区内在住・在勤・在学の団体または個人 アクセス JR田町駅より徒歩8分

お問合わせ 03-3455-8451

# 東京23区で楽しむ、芸術と文化 東京23区の多目的ホール特集! 今回は計6区をピックアップします!



# パイプオルガンを備えた臨場感のある大ホール

地元にも文化施設をという区民の要望から、都電大久保車庫の跡地を利用して 1979年に開館しました。開館から28年が経ったため大規模な改修工事が行われ、 2008年にリニューアルオープンしました。メイン施設である大ホールでは、クラシック コンサート、バレエ、オペラなどをはじめ、さまざまな文化芸術公演が開かれ、多くの 人々に親しまれています。大ホールのほか、小ホールや展示室、会議室、レストランなど を備え、新宿区の文化活動の拠点施設としても広く愛されています。



1.802の座席を有し、日本初の本格的なカヴァイエ= コル型大オルガンが設置されている大ホールは、ス テージと客席との距離が近く、生の音や肉声が聞き取り やすくなっています。講演会・式典・研修会・シンポジウム や音楽・演劇などの練習にも利用できます。ピアノ発表 会、室内楽、演劇などに適した定員210名の小ホール、 定員100名の展示室、最大定員60名の大小会議室など も備えています。

所 在 地 東京都新宿区新宿6-14-1

開館時間 9:00~22:00 都営大江戸線/東京メトロ副都心線 南営大江戸線/東京メトロ副都心線 東新宿駅A3出口より徒歩5分

お問合わせ 03-3350-1141

休 館 日 原則として毎月第2火曜日、年末年始



# クラシック音楽の公演に適した額縁型の舞台

大ホール、小ホール、練習室、会議室からなる文京シビックホールは、文京区の芸術 文化活動の一環として2000年に開館しました。交通の便がとてもよく、丸ノ内線ほか 地下鉄4路線と直結しているホールは全国唯一です。1,802席を有する大ホールは、クラ シック音楽の演奏に適しており、オーケストラやオペラ、バレエ、伝統芸能など多彩な舞 台芸術公演に利用されています。2022年度中のリニューアルオープンを目指し 2021年4月より大規模改修工事による休館を予定しています。



大ホールは、音響反射板・花道反射板とホール客席 側面が一体化し、巨大なボックスを形成することにより、 クオリティの高い音響空間を実現しています。オーケ ストラの音のよさに定評があり、東京フィルハーモ ニー交響楽団、シエナ・ウインド・オーケストラほか多く の楽団が公演を行っています。ほかに、小ホール、2室 の練習室と1室の多目的室等を擁しています。

所 在 地 文京区春日1-16-21 文京シビックセンター内 開館時間 9:00~22:00

休館 日 12/28~1/4、5月第3日曜日 東京メトロ丸ノ内線・南北線後楽園駅直結 都営地下鉄三田線・大江戸線春日駅直結

お問合わせ 03-5803-1100





# 歌舞伎や日本舞踊が映える18mの花道を備えた舞台

台東区立浅草公会堂は、本格的な花道や、様々な音響機器などを備えたホールの ほか、会議や研修などに利用できる和洋集会室、展示ホールを備えています。区民を はじめ、多くの人々に幅広く活用してもらうことを目的に建設されました。大ホールに は、公共施設としては他に類を見ない本格的な長さの花道が設置できます。正面入り □前の「スターの広場」には、大衆芸能の振興に貢献した浅草ゆかりの俳優、落語家。 歌手などの原寸手型とサインが設置され、多くのファンに親しまれています。



歌舞伎や日本舞踊の臨場感あふれる舞台を演出する 花道が設置できることです。公共施設としては、他に 類を見ない本格的な舞台設備です。ほかに、絵画や書道、 写真、華道などの展示に最適な展示ホールや、洋室、舞台 付き和室、板張り和室の集会室があり、用途に合わせて

所 在 地 東京都台東区浅草1-38-6 開館時間 9:00~21:00

休館日 12/29~1/3

令和3年2月より大規模改修 アクセス 東京メトロ銀座線浅草駅より徒歩5分 お問合わせ 03-3844-7491



# 特別区自治情報・交流センターからのご覧内

# 特別区自治情報・交流センターのご利用について

特別区自治情報・交流センターでは、開館日や開館時間が変更になる場合があります。 ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館いただくようお願い いたします。

(公財)特別区協議会ホームページ 特別区自治情報・交流センターホームページ

http://www.tokyo-23city.or.jp/

http://www.research.tokyo-23city.or.jp/

# 東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。

どなたでも自由にご覧いただけますが、日程が変更になる場合もあります。

当協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日 | 9:00 ~ 20:30 土曜日 | 9:00 ~ 17:00 日曜日·祝日 | 休館

# 特別区制度改革20周年記念展示

主催 (公財)特別区協議会

日 時 令和2年8月25日(火) ~ 10月1日(木)

お知らせ

展示については、日程が変更になる場合もあります。なお、前号(春号Vol.40)でお知らせした「全国連携展示(広島県町村)」は 延期となりました。今後の予定等については、当協議会ホームページ等でご確認ください。

# こんにちは! [とくべつクマ®]です

23区のあれこれを広く皆さんに知ってもらいたいという特別な思いを胸に活動している公益財団法人特別区協議会の公式キャラクターが「とくべつクマ®」です。

東京区政会館1階で行う展示 の初日や各種イベントなどに登 場します。

見かけたらぜひ声をかけてく ださい。

プロフィールは、当協議会ホームページで紹介しています。



# 編集後記

今号から、「東京23区で楽しむ、芸術と文化!」をテーマに東京23区の多目的ホールを、1号につき6区(施設)、1年で23区(施設)を紹介していきます。

演劇・音楽等のスケジュールについては、区や各施設のホームページ 等でご確認ください。(K、K&H)

# 特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館開館時間:(4階)9:30~20:30 (土曜日は9:30~17:00) 休館日:日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ http://www.research.tokyo-23city.or.jp/



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ 東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分 東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分 都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分 JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分